

2

誘導サイン基準

この章では、矢印によって目的地を誘導するサインの基準をまとめています。基準化する内容には、情報内容、表示、器具デザイン、向き、高さ、配置等があります。

表示する情報内容

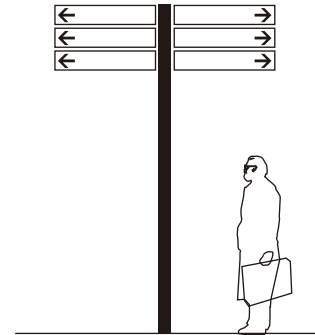
誘導サインに表示する施設は
右表のうち必要なものとする。

項目	誘導施設	ピクトグラム 表示
交通施設	鉄軌道駅	○
	バスターミナル	○
	旅客船ターミナル	○
	航空旅客ターミナル	○
移動円滑化施設	公衆便所	○
	エレベーター	○
	エスカレーター	○
情報拠点	観光案内所	○
観光名所	景勝地・旧跡・歴史的建造物	
	近隣公園規模以上の公園等	○
	全国的な有名地	
大規模集客施設	大規模モール	
	国際展示場	
	国際会議場	
	テーマパーク	
	大規模遊園地	
文化施設	博物館・美術館	○
	劇場・ホール・公会堂	○
	会議場	
	公立図書館	
スポーツ施設	総合競技場	○
	体育館・武道館	
	スポーツセンター	
	野球場	○
	テニスコート	○
行政施設	中央官庁又はその出先機関	
	県庁・市役所・区役所	
	警察署	○
	消防署	
	裁判所・税務署・法務局	
	一般郵便局	○
医療福祉施設	病院	○
	福祉保健センター	
	大規模な福祉施設	
その他	広域避難所	○
	その他誘導が必要な施設	

表示面と器具のデザイン

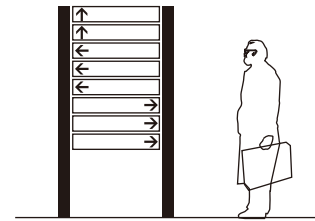
誘導サインは原則として矢羽型とする。

歩道幅員の広い場所、また交差点が広い場所等では、遠方からの視認性・誘目性の高い矢羽型の誘導サインを設置します。



地区状況により矢羽型の設置が困難な場合には路側型の誘導サインを用いる。

歩道幅員の狭い場所・歩道のない道路等では、サインに近接して情報を得ることから、路側型の誘導サインを設置します。



誘導サインは目的地までの距離を併記する。



距離表示のルール

		例
2桁の場合	下1桁を四捨五入	82m→80m
3桁の場合	下1桁を四捨五入	384m→380m
4桁の場合	下2桁を四捨五入、kmで表示	11345m→1.3km

誘導サインのデザインはシンプルなデザインとする。

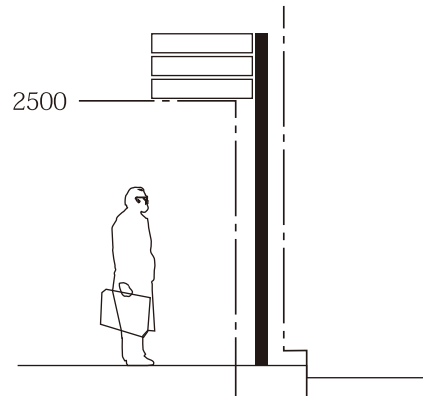
サインのデザインは、効果的な情報伝達が可能であることを前提とし、景観と調和するシンプルなものであることが必要です。また、サイン種類ごとに統一したデザインとし、サインの顕在性を高めることも必要です。

器具の一部に設置場所の地番を表示する。

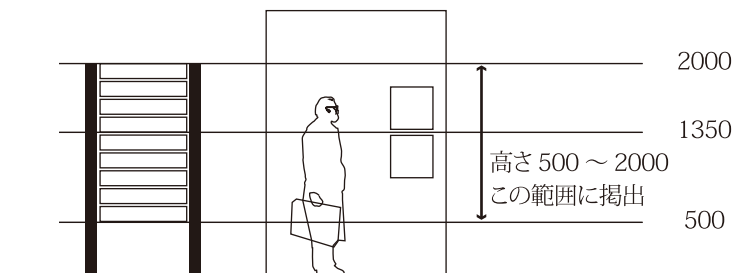
器具の見やすい部分に、現在地の住所を記載します。また、通り名称の記載など、利用者にとって有用と考えられる位置情報については、積極的に記載していきます。

表示面の向きと掲出高さ

矢羽型誘導サインの掲出高さは、原則として、歩道上の建築限界を避け、路面から2500mmを表示面下限とする。



路側型の誘導サインを設置する際の掲出高さは、路面から1350mmを中心に、最高高さ2000mm、最低高さ500mmの範囲を原則とする。

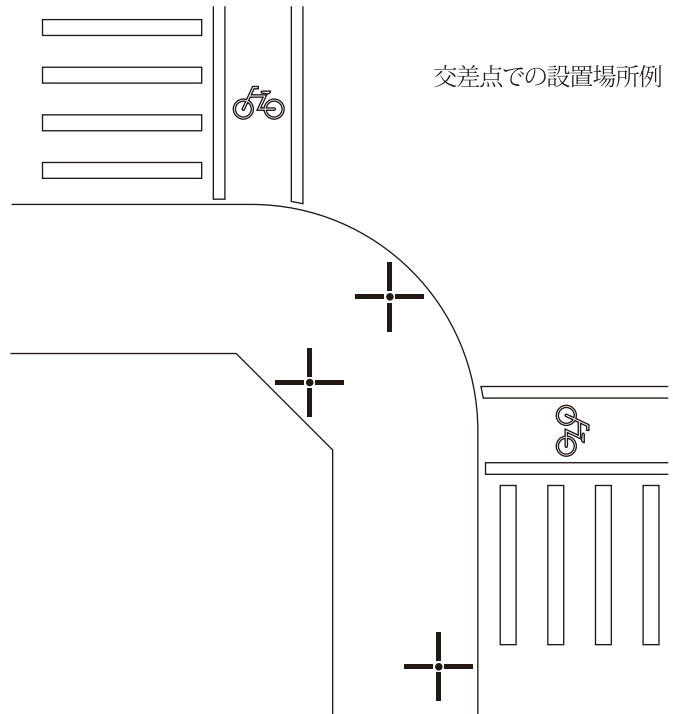


配置位置と配置間隔

誘導サインは、できるだけ交通結節点や動線が分岐する主要な交差点からそれぞれ視認できる、歩行者の円滑な移動を妨げない位置に配置する。

視覚障害者誘導用ブロック（点字ブロック）の位置を避ける。

他の交通標識の視認を妨げない箇所に設置する。



サインシステムの範囲が広域にわたる場合には、誘導サインはできるだけ繰り返し配置する。

